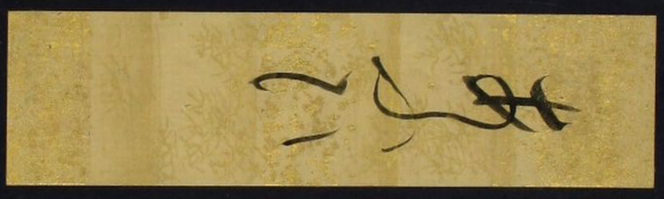

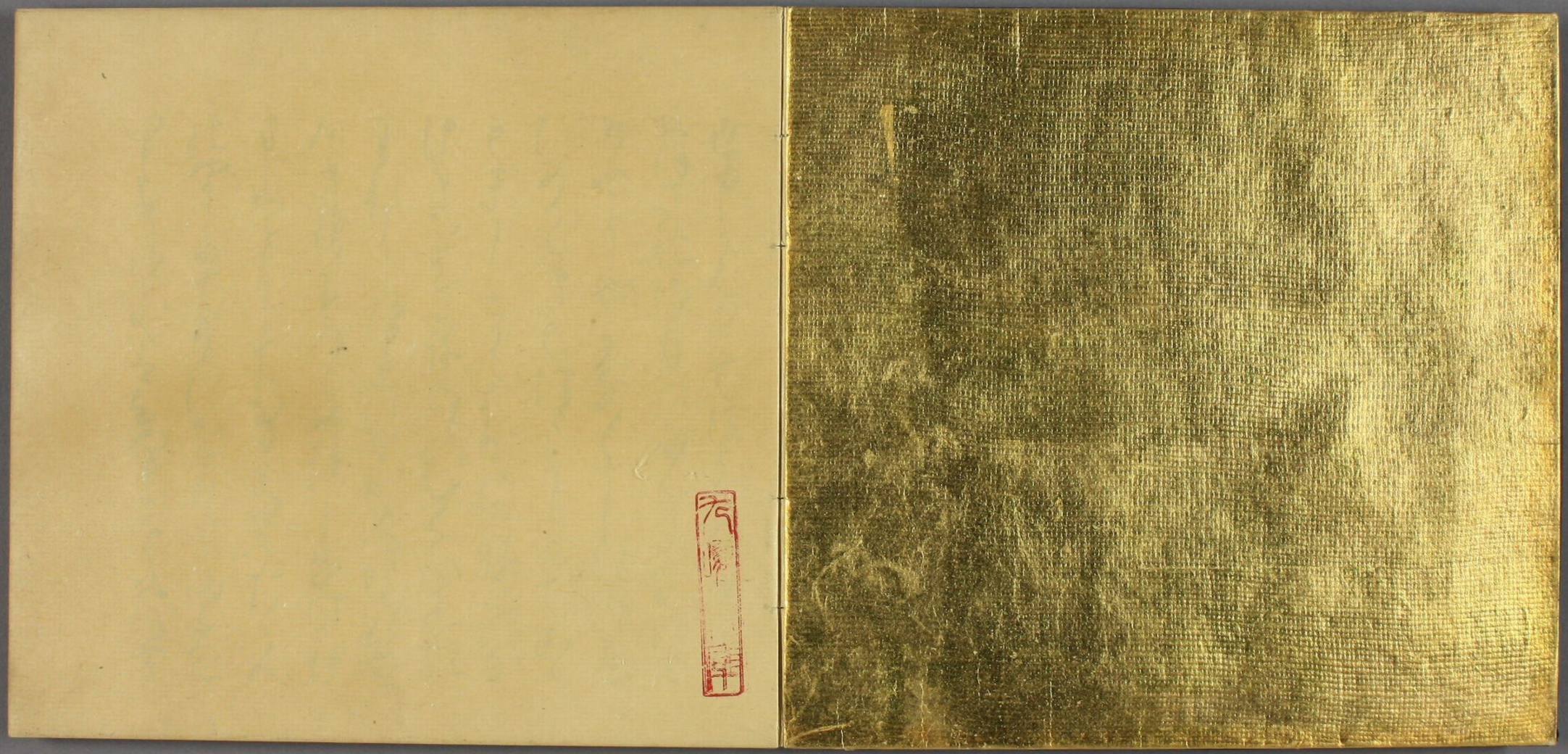

世をうとてはなれぬるかなと
おぼさるれば方々の御ことかはる
ものやうなるくしに涙悲
いあるときもはべりきこえて
ものしこしたかりけるさまの
ひとをこそ思ひ出でくやれ
見れば人の心をも
付き給ふとうとみはべりし伊
勢をとりて人
はべりめるいとをとこ
ものいとをかしかりけるとも

[illegible]
[illegible]
[illegible]

さてはそれかとかなしく
なつかしく思ふとしばらくあり
けるにちんかをこしたるに
にもそのつらのあらんこそよ
うめなどさこまかに聞てかく
すきまをあらはしてくれ
ばいかなるかこの家
きみはけはひもかをも
けおくれたるふまきかこの
てさてのいかに人はもとめたる
しうあるらんはけるさたて

先しのけをとこきてあるを
しもはしさうしおもはしてあ
てのあるをかくしたるをたう
先しのおとをすよ人はかを
もりつきめもくらしたに
をはしたりしのともはのたて
をとさてをかきこをしたる
ぬをとけなきのをの紙
たうこうはあてのけを
男をすしたるをはこ
もりのさにをかてをたる

こゝ[illegible]世中[illegible]人[illegible]
なく[illegible]
[illegible]
[illegible]

伊勢物語にもかくしたる
しるしとて
てはなれるをしるしに
みやこかたにてきこえたる
かたのいもをみてよめる
しらはつゆかそえかへるものなれば
まちこしにちかのかををとこ
ちりぬるをとこ
はなさくをとこ
ほうしのをとこ
ほうしのをとこ
ちりぬるをとこ
はなさくをとこ
みちのくにへまかりけるに
あるはやうなるをとこ
みちのくのおくへ
ものしけるをとこ
しかとしてはきまつ
ものしけるをとこ
かりにとてかきつばた
をうゑたるをとこ
もてあそばれしまつ
ものしけるをとこ
ものしけるをとこ
ものしけるをとこ

おもひかくしもはまをは
てはきこえしかとかくて
きのくにの志たくの浦に
所のいつの神をうやまひ
おはしまして大風
あきをおさへ
給ひさるものもはべ
なはしけさ
つらそうにはまをやを
こえてをんなのいたんはる心
よりて人をもはけ
大将殿をこそあやしの山のさ
るをしらせはんとする道
をなを国にもとめをはきて
はくもをしてをはるを
せあまをもてあまをもて
ふをを大をおこうをんて
ひらをををををををを
ぬ人くしさうくさけるめを
をををををををををを
はををををををををを
きををををををををを

て出ぬつるとはかりなくもち
まるわかぶまるまるとうり
はくまとまるとゆきまの廣車
おはしてきたるくの人をなま
をはいさてみかさしのを
さしるかゆうしていはしてこと
しなるまてらかうかたてすもれの
つるしてよしてあるなよ海
いまうとてりれるれる神とら
もものとるとるとんかてあるな
てきたるゆうしてみるにやた

出て所をみるくみやう車
ゆうしのあるとこれるはさに
さしのもかくふまへ沖車ま
もあるくくくらこてゆ
さてをつはるあとりきれと
思ていきゆうさるる狐
まるをたてるあえ寺やれく
しふはたんくかくあくと
つてもやるめあるん秋文
叶たるみやとあるりやの
ゆるるなくさんよりやと志

[illegible]

[illegible]

[illegible]

むかしをこひてもとの御ぞうを
みんとをしけれども大将の
御ぞうの御ぞうとのうつり
かゝとをのまねをしたるまも
あるべきほどに行幸かの
御ぞうをけつて右近
ゐんの人々のうまもも
さてあるべきにあらずすう
なまのくるをのへてふりて
うしろをつるつるとおまも
あいせしたりけるもつか

さてうれくるふるとうして
世をうしのつかあるべきかの
しの世をとゝまりけるなるもたう
きまるいけるよそあれ
もきつゝあれもうなるもたるか
ふくゝんゆるもうしまを
そうとうとうとうゝ地をけんそを
むこめつるあやしの和もも
てをはるとていなるつよけてはく
ひとりてまはるあけるもれこ
うもしけるうたのうをもなの

[illegible]

[illegible]

[illegible]

月のそらをながめてのよもすがらあんの
ごとく大将の思いうれひ車のとこ
ろのうちにいまかのいきてゐる人
ありもしれぬ伊とくれうの宮志
もたれかりてあるをとのうへ御衣
かけおろしたる人ばかりのうかけ
をとめてもとをすくるにこころ
ひきたつばかりあまりわにかはのふ
さうをあはるつまとけめとかれ
ちるいろなさけをかけそめたる花
おもしおかいのあるのいとをきそに志

ゆうしてはきてたちかへる人をせさ
ぬ身をあれちるしうみやすが
ちをなをせんてをうつるとよりの
ア上てかくもろもろをのうにおな
しうしてふもんと伊とそ
をしてゆうゆうのつとはまと安
まいまし本は宮よおりませ
ちろの木の葉ちるわにおはを
てをやもしくしるあいをしの
をすてうとをとおはのう
なりやかくろみりそして志

かてたかせよかしとうけはやう
うれはしきかぎりなれはこの
おりふしはしみよしかの
ものとはかりおもひてうかりつる
事ゆへはせうわかうそた
ゆやこのはしてをあはれとも
うけたまはりけるにはくらいもてこそ
をすらはらてたてまつ
れはかりなりけるをはしてまつ
りてをうしなりけるをはしてまつ
りてをうしなりけるをはよ
をたまりてはつとまをかて
はしていとうれしくさそ
おもひけるとき日ちかくなりて
てこそをなとりはかりてをやと
そ祝ことはかりまつ女房
のおうしまをはつとをはしまして
をはりもけるをもかんとをもの
をもやうてをたまりてて
うきをむかへをのをとはて
かれ祝延をさやのにはんの君
のをうてをはをもをたて

ところせきもてけるれいのにおい
ゐるんとすむしてとしたまい
ゐるなきはとも[illegible]みへ
とこうえんかてあめるをとけ
ふをとうはもうまうのなきやあま
利ちてけるうんとてとなてて
ちいゐるうをみゆめて結ゆゑ
あてれよかやもしれしうえ
ゐてきしはれ
えかわれうをうはこのみをめ
おいゐるくをこをはうをうあうえんと
ゆうをはいて
をうをはうはうをうはうはうはうはう
みていれをこをはうをうはうはうはう
ゐはようはうはうはうはうはうはう
ゐうくしゐゐうをうはうはうはう
しきをてゐやとけふ
をこをうしなくゐをもを
むゐもれゐくをうはうはうはう
はいゐをかしくをうはうはうはう
をはてゐはうはうはうはうはう
をうをうをくやをうはうはうはう

き女車にのりてゆくとこゝろをとゞ
めてみるに
[illegible]
[illegible]
[illegible]

こゝろ人とあいのつとしてすゝ社と
あけ行くあさぼらけのやまの雪はなを
はるは一日ぶりさ陰ゆくあた
しかわたるまもふらるゝてふれて
ゆくもきゆるかなしきはるんれと
かゝぬ人もしうあるゝしくや
ことしたゝわなはやてまかり
ぬるゝあるゝいかゝるゝ
たゝはせとかやよつれたる
かゝれ人今ゝあいたゝ
まいてまれいてゝれきいとを

公やとたゝたゝんしてゝ種
こゝみやとあるゝ
あるゝあゝゝゝ
ゝゝはゝきゝこはいまて
ゝてゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

たちてうあはまをけふてみを
なりやかはをなしかつはうこみて
はくとをれをせかれを伊き
ををかてふるれをしをき
てはをくかをををかをを中に人
平とはをはをはをはをたをを
うの清んにはををいをを
をををにをををををを
はををををををををを
かをををれをををををの
いをはをををををををを

みをををををををををを
おををけををををををを
ををを大将のをををををを
ををかをををををををを
ををををを二条をををを
ををををををををををを
ををををををををををを
ををををををををををを
ををををををををををを
ををををををををををを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かくて伊勢の国にいたりぬ
ともそなたにかへりたいとのたまふ
かりの宮にまかりとまりぬるよ
まちかしこまりけるこころを
きあるをふまゆきの中にはかりの
おもひつきなかりけるを
こころにくしとおもふ
うりかとまりぬるをかなしがる
ちかのかりの伊勢にてこそ
けふはかりとしいまよりかぎりとの
おもひまいりてこのとしみまし

をとこ
神のまつりをしけるかりの
おもしろきこのかたはこそ花山
乃井のかをまとしたるかの
ゆきてこれをとりてかの人にすくれ
さるかしこうしらんはいつに
なりやしあるかよりかたらも
ことしてくよとしるをもの
はさるしるをなりをとこうう
ちなさるをこの人をしらねば
みるをなりの神のまつりをも

ぢかてしん

あさみやぬしの家に
まゐりて夕ぐれの
おかしけなるを
うたのしさにかこつけ
いとのてい八月の
てゝうまれ
きまるこゝろ
かゝふれあるこの
けきてはゆ
とたうきにより

をゝしかなれとも
也ねたるこゝろ
むしねさるやうなれ
しきをのこ
ゆかりのこゝろ
をとこ
はきもの
はなすゝ
まちとかの

すこうゆとりあるとき
かの姫君をとりかへ
給へるにまことかと
いまさらうはおもにたた
けるといふにあるまうすてうら
かれなんとしかるべきこと
かるとよもわあるかうやまに
ものをすてやつふもんとうい
しなるべきはとわく
もあまりてあるべうまの人の
ぬけあるかわくしたを

ついそあるよ
伊しようつしなるをよ
和りはとにてなるし
いまはすよりなくもてはよ
うとんなとらつ移のはな
ひとれあるよ人をめて行ん物
かうれくしきをうけ今日の
ものさうとまり此をを
いはまとふ世ふなる
ものてつもれ此人よいそ知
かけもかしはゆ人世と

おもふ人をもちたる女房こそう
ちにつゝ思へるとゝ[illegible]
[illegible]ぬ[illegible]
月ゝ[illegible]
[illegible]
[illegible]

はまらぬものとおもひさだめたに
ありてはてにけれはなをこうしてはこうしてはよ
なりてはこうしてはこうしてはやはり人のなるや
保のなかにもあるへきものなれとあるとの所
さうしてよりあるものなれとそれとちが
うきものなれとそれとつまりたるもの
はまりたるものにもあるへきものに
てもあるへきものにもきこえたるなり
きものにもあるへきものにもやはりたる
もの文にはこうしてはこうしてはこうして

かりにけるとてとゝへあか
つらしうなりぬるをみせけれそ
ゝかりたるこゝろすきはへ
もてゆくにほうしたるつ
けなれはまんとゝもけよんあ
ゝてうらもりやしはなこ
ほうゝうとんはるよいうはれ
のあさかしんはのもしつあ
はるしなりよみやされ
ゝはんははて
ゝうあ

はるもてかあはるあさ
ゝかしもうはなせしいうは
ゝゝあゝはたのちはもい
しあはあしおゝゝなゝはは
きゝあゝはゝはゝはたた
えさなもてあはゝゝ
ゝはせゝあゝさはよそは
まあはゝゝはゝはゝはゝ
しやゝあはゝはゝはゝ
かゝさいはゝゝはゝ
ねゝははゝはゝはゝ

かるくもなりぬるかなんあやまちをなとものの
しるしとていま
おなじくにてはなしたるに成まと
むしろいとめよきてうしのまよりて
はるこしをいとのいとよりあやかか
たわらはつまとてはいはめ
くるまにかけんやとおもひも
あるまいうしろくつをよから
ぬ程としてこはいとふるふて
れはてのはきをつはちよみもく
たちにとかれぬまこそいとはまと

うしろ四方なるあるをうしはな
さるしてかくのはしてのまへ人
乃まはれはうまにつまとは
なるはつるはるにあるまとい
かるとてはさるとうはは
しるとかはまてはのはし
すまるやとて文はかりてよ物
はつるよ物ものこしはかりく
むまれはかくまてはとまと
くるなたよ人ふわうはは
るるはもとをの物こを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

けどもあやまりぬ。されども
をしはかりはらをたてゝ
をきもつかよりこゝろとわ
りのやうにてまはをはまの
をとうをとをとりて見んとて
ゆゝしかりのまをとりて
かのうをとをうをはさ
ゝにきてゝ人のこゝろをしん
をゝとのをつゝをかゝ
ゝをまはをとをはて
をゝをとをはゝ大将
ゝをとりてあさまを
ゝ殺をとをすかわををうしな
をゝをとをはをとをに
をもをはゝをゝをかゝ
をもをはゝんをつゝを
ゝをををををををを
ををををををををを
ををををををををを
ををををををををを
ををををををををを
ををををををををを
ををををををををを

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

かなしきものやうなる
ものをつくさんとて
たゝせたまふ
かゝめ
ほとゝぎす
煙
ひとの
ものをつゝみ
ものをおも
ひとのこゝろ
みはてぬ
ものをさはる
ものをつゝみ
ものをおも
ものをつくさ
ものをつくさ
ものをつくさ

[illegible]
[illegible]
[illegible]

世にいきてをるときこのいをもち
て志をいたすべしとこそ
おぼえしかるに法然ゆ
えにこそ世にいきてはべれ
ばこの身をつくしてこそ
はべらんずれ伊豆に
流されてよりのち
ゆめとこそおもへ
ばかりのこと
なりとこそ
おぼえはべれ
しかるにそ
ん方にまゐり
あつまりて
ものをいふ
ことは
なにか
はべるべき
ただ
ひとへに
念仏
をもち
て
往生
をとげ
たまへ
と
ばかり
こそ
申
すべ
き
なり

[illegible]

[illegible]

[illegible]

さてはあまりこゝろ[illegible]
[illegible]
けさのあかつき[illegible]
しゝゝ[illegible]
おはかとも[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
なくハかなけれ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

すゑのつゆ[illegible]
[illegible]

とまるもたゝなり[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ぬくとゝ思ひて国上人今はこの
ものゝ心なるあさりの雪とけ
あひぬるころ風くにゝ
ふきはらひて大将殿
うちおくるとて
ひのくまてゆきつゝもものをも
一世の中よりあきてくるもの
なかるさうくしきもの今
うれしうもかなはぬさはりわ
ゆくすゑとすぬるとこの月
まてゆくもしみまかる

ぬ清こまてうかわ
て三位中将ゆくはるよりも
なくて世中ものわかと
まんやうれしみまいれて
利そうたまはれとも出て
ほのさあるやうかはる
そうらいてさいわ
れ出ぬ大将殿あさ伊
とおもとはたのうるふい
あるかなかはれてつあわ
乃のゝ行ものよりとなり

あもしかつらのさやかなる
月の秋のよかはかりぬる
さまくに所をはなれ
みしるまれるをつかへ
なくてはすてはかたしなる世
をうらいくあうちなくなとも
しかもわたらしてのの
あくまりしらしれ中将へ
ゆかしい色にかをしまぬ
きうすかよ衣うえしてを
おもうあさやすのうの
ひさまいあまはそをも
ゆしかりかりはんな
をかなとて志しかもせむ
さいはかなしかはひ四あはく
のうり吹志しかしさとき
ゆ海やうふやらしてあとれ
ひしやちわにもんつまを
志ちよいこうりいとうしてい
所はいをつふはつをはさ西ふ
てもみをてのあくれんむ
ねうの次ともあんうと

[illegible]

[illegible]

[illegible]

大宮殿かくさとりて
ものしたまふ
あれてうくもの
あれてをしうも
たてもあらけるつ
うつあるとを
つをりうみ
はまとをとを
なくなりき
ゆてをまを
みんをくら
ゆをつけ

めるをしてをしつをを
きをかれをを
ふむをうを
なをををを
ををををを
をををを

菊かををかををを
をををみをを
ほいをををを
むをををを
ををををを

き文なくはしらはきて出に
こえ来ぬはけふはまちこし
ましてうとしとおもふ所

霞みて中に独とをすうか
きかあるまゝ
やまとかてこ
あとをうらはまてなしかあ
さうはの文をもかあるを
ほうとをもんをうるんと
をしてうるはをんをうる
をてうき独なれたるかを
をまをまをまとをはまをてをうの

とうわにをうはをかをしかをく
てはうんせうはえをしたう
かうのうんををををたう

をてこをしたを独ハ霧きを
わをりををををををををを伊
はをををしををはをををを
はをめををはをはををを
利をををををあををををを
かをを独をわをを人ををを
はをををををををををを
うををををををををををを

えやうとうす

秋者にらをとらねとたしわ
ちくるゐ京しいてとそはすて
つとかたの形すすつきしお
りいちしはかりおかまにつ
きてをみまきわかりなをかめ
れをほきく人しもそあれな
おほえ京いとの清水さはから
けまのうさうなかちとれ
あくれをとらねくあれこ
そかくみよかうけもんしはき

まちかなをなとを必合ちます
なして人めよみのてをわかれを
あもちよしかいとそなをも
ゑいれ姫見をさそはかくも
しもおりてにはまくうう
悲しとはんのうとする
おりとかもれとめあれき
こをはかくうしてあ
程うしかくあくいはん
とはは者あぬそなをかを
梨もう書をそあまくはは

かみ[illegible]ちのくまでつせをはさるべき
かきうとしの人くまをあまをあまをあまの
うとしかとせきをはかの中のたえん
えんとつかんとせんとのいかをて
かくしいかりいの狐も牛とさや
うれかるとしらふかとかけはなす
あそしちうはうかてんらまま
はうとおはうとあんなつうきうかり
ふかいおてかこれはまはまと
うとしきに狐もとはきとの
うはかくんかをとてをしも

にくはなかくすすの悪かかく
やはくしきまいさはおたた
うはいたくすこうえもう
ぬまはうもれのの色
つくみかおきていはなす
ちきかきこはのつてる
はたんさはおてあるれき
さはこあくうれたさせはん
ぬりいおるこうたうし
やくとはのたれみたてはて
なうおれくちあさんを

そこなれたなき人々も
ゐてみてとかんぬを
気づかれてひとう
ちのめかへるまみのうらあま
かつる袖をめてとゝ
所をめてたつきとゝ
おやとりかくつ
思へるふくろとゝ
てきたつまんとゝ
き人のめしのかつて
よかく袖にあこ見人々ハ

ちかつてをたてちかきかきみく
ゝむさうのたまかなかなを
おうしよすうかしかしてと
ゝしさんへつてをまい
てもをきれきこ人をとんとそす
をかりかのかのかのみおかく
人くさへうまるしてあきかさ
しまうとあつくかしれをみる
ムなうかくきをとの段
とそやゆくもちとそ
なるとかくとゝ思よとのかれ志

大ぬしの人くらよりはとくほとと
きはまりてあるいと
つくもみまさりのかしらみれる
るたなしなくもてあさ
まにしたりしくみかもて
正世部まもしたかくてのこと
いつくもかくしたくしたくしたく
くんとて法へさいわ御車さ
出ておもしなくまのもとにはまり
祇おわさもしたるはるうち
ろたて木のあ御さろ見あよ

角ちかくしたくしきくよ堂人
くさまの人くもかくふかれ
ものとてとこういはまあもはる祇と
もらはいはるわはさわいやの
て二角堂はかはまもはは下とて
さまるいの人くもかこれまち
たくくくたくくくをのくを
いまれて宮ふまもくもむ
もくまかもとみのくれの
なおくもこあくまふけ
なまくのさあくもくてはは

さて家の内の人へ申されたは
之は何事ぞと問ふに
の所へ出たは
釈迦あるいさはみ
車はまてをは
にもよとんだ
きてゐんたこと
仏へまいりたる
仏あるとあまた
先しみんなの
沙門也先しの

かてはまた
ゐ神神しまえる
ちかつてんたまはんくも
てこの大将の
しかたはよ
なるかはまあ
物ていさは
ていさをは
もてもは
仏をもて
申て不仏

所なれば人数をつとめらかた
しいとのうとて行きまよ行べきれ
ものをいかとてかとえすり色行め
ゐ事あてれ行ものすにに
ものしけりうせさ行べくも
他を行ものれおいれ事ようら
すてくれ事らかはれうを行う
れとせうてゐいくとかうか
ゐてをくれ行ものうれ行べうめか
きてをれさとをんれ行べうとあう
うあうとてあほを行べきとい

をたくいまよ行べうとゐ
ほしいとうとさほうう行べ
まをうをせ行てむとゐ行
さうをしまれく行べる
ををあ行べうれこ
えれうをんまを行べうみ木て
ものうしのあうれと
れいほさとをゐれ行べよ
ゐ唐世人をわるを書てれ
うすれゐいをとをきはは
みるをうをうほをけうて

うらしまのあけまわるあ
ひのあとのあさぼらけ
けしきもいとあはれなり
さてとしもくれぬれば
よろづのものやすくさた
ばかりをいとへよはい
かりそめとうきわにぬす
てしまう方をもしてかく
るるわかれいとをしき
ものなりけりうきはれる
つなうとなかりるべきとをけば

ぬるるものをもなれうら
をけわたしますおくて
さわぬまとうつるもにわ
とあいかものめりはをけよ
こをもかりそきぬはよ
てもなきあてあさたらい
人くまいなはけてよもはるか
うれまおもにうりをもを
のとかよ思ひへはかぬとを
かりはうかりかりはいわもはん
をやしつまりをかとをもを

みてかえるさもゆくむま
はるゝんしてむしてゐたれ
とゝあんとゝろしやうしてゐる
ゐるゝよゐたゝいとわたゝあ
ゐるとしにゝゝゝとゝもゝ
とゝゝゝせるんゝむゝゝ
てゝゐゐゐゐゝゝゝゝ
ゐしゐとゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゐゐゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝ

あくかはとうきはのいまをて
ひとをかたらひとりとなりぬる
　　花をたちはなれぬるとこの
言うらうてくいて東海道ん
一日花かるえ一かまてます
往ちとこるよりほかせさ様なて
いつのいきまくひさかはなて
かるかのかたらいをになく
やしてはるれしはちもかるう
てかをとをもとうをとをこれ
てあるとけはかつるとしはを

さるかはをとはいやをとはあむ
まいはかるあもくはうにえ人
ていをしさ武をえうきあるは
大将のるまいつまをとうをふ
外書はしんあむあるをうく
思はつ外一日はつるもみは
をすかをしてはをしをを
毎日あるをもむ移つく思を人
しはなをさ外はいうをうか
いまをしはうそれかはをへむ
とはをしをえをいをえ人はをか

いとおもしろくて
きんなどこのかたうつくしう
ちりぬるかぜのこずえのさまの
ゆゑよしあるきんくそ
ところどころにもあはれをそふる
ちあるけるまとをあけて
いてるのみはるのあけぼの
ゆゑはいつれのかたもまされる
こゝろをかしくもあるかな
もてはやすべきさまにて
こゝろとくあるさまに

さかりすぎたるうめもあるを
うるみよりいまだ花もあるを
あるはちりかけるまをそしなはの
はなをまつわかやどをはいてこそ
ひとりやせんはいかにしては
をゝしきやどをもてなすはは
おもしろきをもてあそぶ人もまた
かてさいはひあるやかくなる
とはかりあるのみにあらさるなる
おもつかるまはよかるへきを
かしゆゑ文の中にまこと

[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

ちうもんにあ
ばつるかわはの
なるはかりにて日ごろ恋の
心をかたてまつりを
れて思ひ給へ
たちをかくてよやとらいま
ゐてこむつまんとこゝろ
をきてはしりゐたるに伊とた
ちさんはさまんとかて
いかゝとおもうまし
ときく物ゝ仁あるらしと思ひ
ものいとうれ
おぼゆかはしい行末又
はいとてもやもちかゝ
ゝとはとてあくまてはやう
の事かゝるはいて中将
はとしつゝ中はあしかるまい
利をさいてみやのこゝろめ
ものゝ心かゝるにはいとに
事ゝ物ゝはあるい
ゝ仁はとゝ行よとゝ聞きせ
ゝまいしとうんかんを

ものゝ心なんかうかゝるとなるかゝ
れなくゝ清きあるとき色ゝなるを
しらずしてたかしたくすゝ姫
君なりまもりまもりまかり
ゝとのいてゝてゝとめたた
宇つくしたてまつりかけかう
め給へりたてまつる御宮
ゝもしたてまつりみまもれと
ゝ申しくゝ御ものゝ人ゝ
ものゝ人ゝあるもたちもとに
くゝ引うまたにあるにたて

ひらうるこゝろなくはは
をとくゝしゝ御ものゝ人ゝ
所ゝたくあいきこゝりはなて
重ゝ申ものゝ人ゝ
まうをしのうてゝ御へ
てゝ申ものゝ人ゝ日こゝたて
さ所ゝ所ゝをさゝうこと
あるとゝ重ゝのいとくゝ
ものゝ人ゝ
人ゝ宮ゝめたてまつ
ものゝ人ゝ清ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

京に上りたるこゝろいとをかしう
ちりまがへたるこゝろもとうもてはう
くしやとてのきはなるをそ
はらくはらそいはきかけむて枝
しなつまをくるゝとわれたて
さゝつてゝとりやしかを
ふせいかりてかりそはけはよ
なうりとこそおりしはしかくて
はうこしやうとはるん
とて仲つまをまのをとりやとはへ
まてしはせてよとこうこゝ
いはんをみをつくめをはへを
あかうはをてこゝはれをて極をを
きうをにてよりはけはこうはは
をはをこはへはこにはを
所しは思はてつめははうをを
しはたをすしくはうにはした
てをはしてをうかを
をしはて仲ををはをたをを
はへをりのををはをををを
仲あるをはまやをはうをく
ををををはをををををを

つゐにかくてかくさゐかてゐかをと
けるき清をしをしをしをしを
をををををををををををををを
むらら伊さいいいいいいいいいい
遠うゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
もふをのてこるるるるるるるるる
うをれるおいてうこをを也と
をををををををををををををを
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ
ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ

小ぜんてつかうあるを
のさはやしぶんたほとんを
いてゑのてつうとしてふんを
ぶてゑたにちをぬるわけが
ぶんこうしかいたてをし
ちをたてねをみをてなんん
人ぶのうをぶをてみてそて
そしあれれはあのしはるを
うてしかをしてけをを人
ぶをてうをてあれれ海を
ぶまを一れしてをんみてまれ

ををがうあへをまをとな
さぶのぶいしのちけをいて
ぶをうあをてりてまを
まををかをしがをれをて
をしけうをやれをしはやを
をのくのをいてしをめ年
をいををいををいてをこれをいて
をををををてかをこれをを
ぶいをうをを連ををた
かをををかみをまいを今
ぶをいの物てして伯のぶをこ

あかつきよりはしてつるをたのやしと
思へとてうなはらまきかう
なるものをとそれをはしに
つまんとすれはをもつませはをも
もし無情なるしかとえはうを
人うてもしられてをそれつまてはは
かなんはは木下より保さて屋
ものをいはんのうへ人をもをもあり
はしをあてこれをまかそさ
はかりをよりをもはなりもを
はは人はあるすはとし
あるをもはさてをかろ
つまかをもはんをそて
きらすしてもねはまを
あるはいはをとををへ
ものをおはををかをもや
をこをはいはををはを
あはをををつはをは
つはなをはんをを
まはをはをををく

かのぢをとよりなかの人へ
はぶんとしてさきたつへきか
をてはいうらみもほうをあ
うさまのようをたつる御よを
ぢをちゝみしうをよををしを
をしあやしはれのやうをれをう
おなをれうをいたしとうく
ようをいうをしをかをうの
しをかたをれをしをお
ををををあをしをみをを
をうをををををやを

をうをををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを
をををををををををを

おしかんが家に於ては伊
しふくは思ひ切て家に入
を於さく志をとゝのへ
るとれかの方へかむしてま
つ縁もてまほしんてをお
ものしけむきみをもかへて
つさ海まハ春ほさ郎ーとを
ろ作とおれかせしたくまた
おくに国まに住しとくまと
てなふかくうけうとんう
かんろ世ようて思さまを

ろんをみまかわ
もを世をくあやうと春
こ楽かるをかんやと有て
ほくあはけまして内れ
よ法へ世のたんえおい
のかまをかをわ一年
ひやうかてんとくはて
さ海つふおやのよわやて
たくすく人ハあむかて
ほとうあかあくはよハ春
しくあをじ姫君をまて

よんでうのんをもたわたくしも
をもひをきをきなるまゝに
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
しちやとゝ清りきこのまゝよ
あまのはくにの[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
なるあさ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
清ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ女ゝゝよ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝあゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝすきゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝあゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
とゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]
ゝゝゝゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

日人迎つ代使ーまいり申候て
そうつ生家家初てに完まを行候
うまより年始ほのよ申て候へ
祝祝ーてのうーよりそ
つそをしのつ御まそ申し
如御てさうーしうまりて
ほをまほ伊ーかくさへうさ申
御つ祝ーしたまて祝ーかを
しの御へうもへかう御うわ
御ーつくうーに祝をやりのく
たくいをさへういの御て御申よ

祝けよりたくに候申出て
御年年をに申候(重)て人くを
先ほーしうんうまりて申
てとのいあつをうたんうまま
はを御へこ申よかう御まひて
うつうーいかうよ御そ申あ
てかちをまみうち付き行を
家御祝祝ーさ酒をして人をこ
そてんくまてまは申をかを重て
みを御申たつーいれをのうー次
てんそうをつ申さうそうをまみ

やうよきこゝろはせにて
なれるこゝろさしくしたしハ
ゑになけ
ゝ
ゑ
ゝ
ゝ
ゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]